

第68回 五所川原市社会福祉大会

令和7年10月25日(土) 12:30

記念講演は八戸出身のライター中島美華さん。

ほかに、オープニングセレモニーや防災に関するブースも設置予定。

各就労施設からの販売コーナーも設置予定です。

ありがとう

〈敬称略〉

物品

●五所川原交通株式会社
車いす(中古) 2台

アルミ缶・プルタブ等

●五所川原
坂本せつ子、木村倫子、葛西静江、三森あつ子、斎藤真紀子、藤森正彦、三浦トシ、工藤容子、金沢加奈、岩谷比登美、斎藤春子、堀内貴子、伝谷谷誠子、田中尚美、笠井達徳、和島光凛、笠井とみよ、児童デイサービスラ・シュシュ、青松園、クリーニングサンみわ、第一生命五所川原オフィス、(株)毛内酒店、アトリエ游雲庵、鎌倉老人クラブ、うめたグループホーム うめたふれあいセンター



▲青松園
園のみんなが集めたエコキャップ、プルタブを届けてくださいました。

金木

青山 蓮、秋元ゆうこ、浅利勝義、荒井春美、長内昭江、泉谷泰子、加藤洋子、鎌田サツ、木下恵子、木村弘子、木村みゆき、桑田セツ、小松 稔、今 美子、佐藤え子、白川豊之助、田中豊忠、徳田久美、長尾典子、長尾匠時、中谷幸子、前田キヨエ、三国谷由次、山中伊次郎、青森みちのく銀行金木中央支店、カーメイクツシマ 対馬尚吾、

金木総合支所、金木鍼灸院、金木地区婦人会、川島グループ、ジャンボドライ五所川原、津島ふとん店、前田自動車商会、リサイクルショップおた

市浦

三和 淑、市浦診療所



▲金木地区婦人会のみなさん
会員のみなさんが集めたエコキャップを寄付してくださいました。

子ども宅食へ寄付

●楸裕健 ひなた薬局
カップラーメン 7.8kg
●法永寺
食品・ジュース19.6kg
●天理教西北Ⅰ・Ⅱ支部
食品7kg



▲株式会社五所川原エフエム代表取締役
半田様
あじさい祭りをチャリティーとして開催、
子ども宅食おすそわけ便を通して、子供
たちに活用して欲しい。



▲明治安田生命五所川原営業所
いつもたくさんの寄付を頂いています。

あなたのちからでつながり広め支え合うまち!

ボランティア募集!!

8/8 (金) ケア付き立佞武多
「夢かなえ隊」

18時頃からご都合に応じて

参加者の見守り、掛け声で盛り上げたり、車椅子を押すなどの活動です。運行参加者も受付中。

8/5 (火) 立佞武多
観覧サービス支援

高齢者や障がい者用に設置される観覧場所で、立佞武多見物をお手伝い。状況に応じて参加者の自宅からの送迎支援もあります。観覧希望者も受付中。

11/15 (土) 愛の輪
レクリエーション大会

9時から12時まで都合に応じて

応援や見学、ゲームの進行手伝いなど、その場で協力できる内容です。年齢問わず受付中。

目指せ 3,000kg プルタブ、アルミ缶換金 5、6月分

アルミ缶 20kg (4,400円)

プルタブ 20.6kg (4,326円)

令和7年6月末までの累計kg数は、
アルミ缶が100kg (10,700円)
プルタブ320.6kg (36,326円)

となりました。

貸し出し用除雪機購入を目指し、今後もご協力、よろしく
お願いします。

各種印刷物・デジタルコンテンツにおける企画・デザイン・制作から製版・印刷・製本

地域文化と価値創造の接点。
(有)アート印刷

【本 社】五所川原市金山字亀ヶ岡46-7 TEL 0173(34)4487・FAX 0173(34)4459
URL http://www.artprt.co.jp E-mail net@artprt.co.jp
【つがる支店】つがる市木造千代町42 TEL 0173(42)1245・FAX 0173(42)8085

社協ごしよがわら

令和7年
8月号

編集・発行/社会福祉法人 五所川原市社会福祉協議会 電話 0173-34-3494 FAX 0173-35-5855
〒037-0065 五所川原市字幾世森218番地6 URL http://gccsw.net/ E-mail gccswg@gccsw.net
■金木支所・電話 0173-53-2241 ■市浦支所・電話 0173-62-3285

OPEN
にこにこ温泉しゅう

入浴、筋力づくり、福祉相談もお気軽に



男湯「十三の朝日と十三大橋」

女湯「おもいでのみきば」

市浦の風景タイル画を眺め、低め湯温の炭酸風呂に浸れば、血行促進に!



乾式サウナあり



休憩スペースは団らんに最適

太ももや膝上の筋力アップ、腹筋と背筋の筋力アップ、胸の筋肉と腕の筋肉アップにおすすめのマシンもあります。トレーニング室は五所川原市民のみ利用できます。(無料)

土日開放、最終入館は19時30分
TEL 0173-23-0264
市民はお得に利用できるようになっています。



脚や腰回りなど、下半身の筋力アップにおすすめ



運動不足解消、筋力や持久力を向上!

この広報は、皆様からお寄せいただいた共同募金助成金の一部を活用して発行しています

私たちは、この住み慣れた地域で、高齢になっても、障がいをもって、自分らしく、安心して、一人の人間としての尊厳を大切に暮らすに貢献します。

株式会社 五所川原ケアセンター

認知症対応型共同生活介護・認知症対応型通所介護『高齢者グループホーム憩いの家』
小規模多機能型居宅介護『ケアホームのりた』『ふれあいホームいこい』
居宅介護支援『ケアセンターいこい』

総合相談受付 TEL 34-4856 ケアホームのりた(事務本部)



令和6年度 事業報告・決算報告

6月27日開催の定時評議員会で承認

社会環境や健康上の理由、物価高騰や地域経済の低迷などで生活に不安や困難を抱える人を見逃さない住民意識を啓発し、住民主体の地域福祉活動の推進やボランティア活動の促進と支援、担い手の育成を強化、自分らしく暮らせる福祉の「環境づくり」のため、権利擁護の充実や社会参加の促進に努めました。

社会福祉法人化60周年を目前に、地域福祉活動を支える基盤づくりのため、組織体制の強化、財政基盤の確保と強化にも努めました。

つながり、ささえあう福祉の『地域づくり』の推進

・地域見守り支え合い事業

地域を拠点としたネットワークづくり 28町内会（助成総額 1,516,600円）
ふれあいほっとサロン事業 13町内会
除排雪たすけあい事業 13町内会
ふれあい交流会開催事業 20町内会
その他町内清掃や草刈り、ゴミ出し支援などの活動 11町内会

・アクティブシニアポイント事業

高齢者等の健康維持と社会参加を図り、特に福祉事業等の内容を豊かにできる活動に結びつける事業として五所川原市が創設して2年目。その一部を本会が受託し、説明研修会を12回開催、新たに23名が登録した。
登録会員数は57名、ボランティア受入施設等 23か所。
（介護サービス施設 10か所、介護予防教室等 11か所、在宅生活支援 2か所）

・ふくし出前講座実施事業

4校、3団体が受講。のべ300人（昨年は全校で受講した学校があったので、432人減）が受講し、児童・生徒や町内会や各種団体の社会福祉に対する関心拡大に応じた。講座には福祉教育サポーターが協力し、ボランティア活動も広がった。



・西北五圏域（五所川原市・つがる市・鶴田町）権利擁護センター

令和5年度から受託し、中核機関が専門職などと連携して、権利擁護支援の方針を検討した。その方針に基づき、成年後見制度の申立方法や適切な後見人等候補者を調整しながら、本人を支える権利擁護支援チームの体制を構築した。
専門的判断会議（14件）、権利擁護研修会を2回開催。認知症や障がいがあっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるように支援をする専門の相談窓口です。

・五所川原市愛の輪レクリエーション大会

障がいをお持ちの方々と地域住民やボランティアが一堂に集い、レクリエーションを通じた交流活動を行った。令和6年はパフォーマーを招いた形をとりましたが、参加者たちは歓喜にあふれていました。



・ケア付き立佞武多（夢かなえ隊）

地域を代表する祭り五所川原立佞武多に、「参加したい」と願う在宅の障がい者等の希望実現。参加者30名、ボランティア18名は満足感いっぱいであったとともに、広く障がい者への理解を深めた。



◆令和6年度 決算概要（法人合計）（単位：円）

区分	決算額
収入総額	569,099,159
支出総額	575,219,449
当期資金収支差額	△ 6,120,290
前期末支払資金残高	106,235,085
当期末支払資金残高	100,114,795

ニーズを受け止め対応できる『仕組みづくり』の充実

・五所川原子ども宅食おすそわけ便事業

企業や市民などの方々から善意でご提供いただいた食材・日用品等を、支援を必要としている子育て世帯の方々へ「おすそわけ」する形で提供することにより、「つながりつづける」ことを目的に、市内社会福祉法人や民生委員等地域住民、企業等の協力を得ながら、年6回定期開催し、2,653世帯が利用。時期や内容を特化した随時企画（おさがり交換会、女性用品等の配布）を延べ495名が利用。また、令和6年8月からは、親子の居場所づくりの場として毎週日曜日に地域福祉センターを無料開放する「あそびば」に、延べ501名が利用。地域のボランティアと連携し、利用者には遊ぶ場の提供のほか無料で昼食提供などを行い交流した。

地域福祉活動を支える『基盤作り』の強化

・財政基盤の確保・強化

・会員会費制度の周知と拡大

一般会費 3,175,620円（前年比 245,730円減）、賛助会費 685,000円（前年比 35,000円増）、役職会費 180,000円（前年比 10,000円増）、社会福祉事業寄付金 807,068円（前年比 473,429円増）、有料広告の利用促進 245,000円

・指定管理者制度の取り組み

五所川原市養護老人ホームくるみ園・五所川原市地域福祉センター・金木中央老人福祉センター・金木生活支援ハウス・市浦生活支援ハウス・五所川原市生き生きセンター・五所川原市健康増進施設



市民参加の福祉づくり
法人化60周年を契機に加速
会長 乗田 孝一

昭和41年2月に社会福祉法人化した本会は、皆様のご尽力に支えられて今年度60周年の節目を迎えました。
複雑多様化した生活課題が複雑多様化する今、改めて法人設立趣旨に立ち返り、より多くの方々のご理解とご参加を得て、市民に笑顔が広がる地域福祉の推進のため役員一同努力してまいります。より一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

任期満了に伴う本会の理事・監事・評議員の一斉改選を行い、次のとおり選任されました。

理事（12名）

乗田 孝一（会長）
三上 勝則（副会長） 白川 貢（副会長）
村元 秀子（副会長）
富田 光子 中山 佳 高松 隆喜
藤森 真悦 長尾 篤仁 前田 晃
中野 高志 平山 博文（常務理事）

監事（3名）

野宮 治 大橋 一之 山崎 真裕
（任期：令和7年6月27日から令和9年度定時評議員会終結時まで）

評議員（32名）

伊藤 正一 神 泰樹 関 節雄
柳原 繁美 土岐 敬一 小林 保美
竹林 順三 小野 茂 木村 慶弘
成田 啓子 新谷 良昭 笠井 重幸
徳田 誠 佐藤 勝幸 長岡ハチエ
島村 新生 高橋 勇公 中谷 正造
成田よし子 川村 沙織 小野 顕成
吉田 昇子 櫛引ユキ子 成田 和穂
外崎れい子 花田 宝子 黒沼 剛
秋田 幸保 浜田 和幸 萬谷 邦彦
齊藤 和博 福田 隆総

（任期：令和7年6月27日から令和11年度定時評議員会終結時まで）

電気のこと暮らしのこと
お宅の困ったは『電』承ります

マルエーデンキ一番館
つがる市柏稲盛幾世171 Tel. 0173 (27) 5101

丸英設備
株式会社 丸英でんき
TEL 0173-35-0103